

Formula Blue

YAMAHA 5L KARTING

全日本カート選手権 FS125 部門西地域第4戦瑞浪大会

■開催日：7月14日～15日

■天候：晴れ ■参加台数：34台

居附明利、地元で快走&初優勝!! 清水英志郎はタイムトライアルで1位獲得。両選手が速さを見せる!!

全日本カート選手権 FS125 部門西地域第4戦瑞浪大会が、7月14日～15日の2日間、岐阜県・フェスティカサーキット瑞浪で開催された。西地域シリーズも、残すところ今大会を含め2大会と大詰めを迎え、シリーズタイトルに向けたポイント争いも熾烈となっている。大会両日ともに気温が38℃を超える猛暑の中、熱い戦いが繰り広げられた。

Time Trial/Qualifying Heat

今回はスポット参戦が多く、今季最多の34台がエントリーしたため、タイムトライアルは2グループに分かれての攻撃となった。清水英志郎、居附明利両選手共に、抽選により先に出走するA組での攻撃となる。計時開始と共にコースインし、早い段階で攻撃を行った居附に対し、清水はやや間を開けてコースインした。

両者共に、集団をうまく活用しながら攻撃を行い、清水がA組トップとなるタイムを記録、居附もA組で3番手のタイムをマークする。後から出走のB組はタイム更新ができず、清水が総合トップを獲得し、居附も清水の真後ろとなる3番グリッドから

予選をスタートすることとなった。

予選ヒートでは清水が好スタートを決めレースを引っ張り、居附も好位置でレースを進めていく。中盤以降、清水がラインを外した際にタイヤカスを拾ってしまい、グリップダウンを招くと順位も下げてしまう。居附は、トップの選手をピタリとマークするように2番手につけ、周回を重ねていく。

レースはそのまま、居附が2位でフィニッシュを迎え、決勝でのフロントローを獲得する。清水も、タイヤグリップが復活してからはペースも戻り、5位でチェッカーを受け、決勝での巻き返しを期すこととなった。

Final Heat

決勝ヒートは20周となる。フロントローアウト側からスタートとなった居附は、1～2コーナーへの距離的な不利を被り、スタートで3番手に下がる。逆に、清水が好スタートを決め、居附をかわし、オープニングラップは清水が3番手、居附が4番手で終える。

トップグループは5台ほどがひと固まりとなって構成される。ストレート区間が長く中高速コーナーも多い瑞浪は、スリップストリーム効果も大きいため独走はできないコースと言われている。トップグループの5台も、接近戦のまま周回を重ね、順位を入れ替えていく。その中で、徐々にポジショ



ンを挽回してきた居附がレースの折り返しを過ぎた13周目にトップを奪う。その勢いそのまま、やや集団から抜け出すように、15周過ぎにはリードをコンマ3秒にまで広げる。

一方の清水は18周目に2番手まで順位を上げ、居附とのワンツーフォーメーションとなる。

そのままチェッカーへと期待されたが、残り2周を切った19周目の2コーナーで、清水にパッシングを仕掛けてきた3番手の選手が接触し、順位を落としてしまう。これで、完全に単独走行となった居附は、そのまま逃げ切り全日本選手権初優勝を飾った。瑞浪は地元コースとして1位を狙っていた大会だけに、嬉しい勝利となった。清水も態勢を立て直すと、5位でチェッカーを受けた。

次回は、清水が負け知らずの成績を残している神戸大会となり、二人のさらなる活躍が期待される。

6 Formula Blue Team Nagao



清水英志郎 (チームナガオ / 兵庫県出身 / 15 歳)

レースの組み立てはしっかり出来ていたし、レース自体も良い展開でした。予選では、自分の走りが悪く、路面が重くなってきたところで、人と違う所を走ってしまい、余計なごみを拾ってしまいました。それが取れなくて、順位を下げてしまいました。決勝は、それを指摘されたので注意し、セットも少し変更して臨みました。決勝の終盤では、居附選手とのワンツーフィニッシュが見えかけていたのですが、アクシデントにあってしまいました。相手もトラブルがあって、アクセルが戻らなくなったようでしたし、仕方ないかなと思います。シンプルに悔しいです。次戦の神戸は期待されているのでそれに答えられるように、頑張りたいと思います。

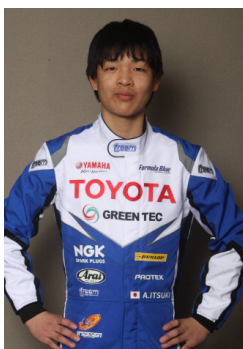
チーム代表：長尾 貢【ナガオカート】



予選では、違うラインを走ったことでタイヤカスを拾い順位を下げてしまいましたが、原因が分かったので決勝ではそういったことをしないように注意し送り出しました。周回数も多かったので、落ち着いて臨み、最後に勝負をかけようと作戦を立てていました。確実に表彰台に上られるレースでしたが、最後のアクシデントは仕方ないですね。良いレースでした。

今回は地元ですので、必勝態勢で臨みます。

25 Formula Blue Ash



居附明利 (Ash/ 愛知県出身 / 15 歳)

自分が目標としていたコースで優勝できて、とても嬉しいです。練習から良いイメージが掴めていたので、公式練習、タイムトライアル、予選と自分の思う通りに走れました。決勝も、まずは前に出て逃げ切ろうと思っていたのですが、簡単にはいきませんでした。順位が下がった場合は、後ろについてチャンスがあればすぐ仕掛けようと思っていました。トップになってからはアクシデントが何もないことを祈って走っていました。今シーズン、ここまで長かったです。神戸は清水選手が強いと思うので、それに負けないように頑張ります。

チーム代表：築山 敬【かあと小僧】



今までマイナートラブルが多かったので、今回は成績を残そうという思いで挑みました。地元ということで練習もしましたし、頑張って取り組みました。頑張れば結果が出るだけのポテンシャルがあるということです。今回は練習から調子も良く、あまりセッティングもいじらずに、基本に忠実に取り組んだことが成績に結びついたと思います。

次回も頑張りたいと思います。

全日本カート選手権西地域第4戦 RESULTS

Pos.	No.	Driver	Team	T.T.	Q.H.
1	25	居附 明利	Formula Blue Ash	46.230 ③	2
2	77	中島 俊輔	ガレージ茶畑	46.328 ⑦	7
3	17	高木 悠帆	SUCCEED SPORTS Jr.	46.158 ②	1
5	6	清水英志郎	Formula Blue Team Nagao	46.155 ①	5

全日本カート選手権西地域ポイントランキング

Pos.	Driver	Team	Points
1	高木 悠帆	SUCCEED SPORTS Jr.	109
2	清水英志郎	Formula Blue Team Nagao	106
3	渡部 樹	TAKAGI PLANNING	99
7	居附 明利	Formula Blue Ash	47

EVENT CALENDAR

	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	FINAL
East	22/Apr. MOTEGI	3/Jun. HONJO	1/Jul MOBARA	5/Aug. MOGAMIGAWA	9/Sep. SUGO	18/Nov. SUZUKA
West	1/Apr. BIWAKO	20/May NAKAYAMA	17/Jun. APG	15/Jul. MIZUNAMI	26/Aug. KOHBE	